

サレジオ工業高等専門学校のプロモーション・ポリシー（卒業・修了認定の方針）2019年度入学以前

○ 準学士課程

準学士課程では、以下のような能力を身に付け、所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

A. 基礎力	専門分野を学ぶために必要な基礎的学力や技能 (①知識・理解, ⑤技能・表現)
B. 実践力	提示された課題に対し解決の道筋を考え、解決のために知識を活用できる (②思考・判断, ⑤技能・表現)
C. コミュニケーション力	物事を論理的に考え、それらを文章や言葉で表現できる (②思考・判断, ⑤技能・表現)
D. 人間性	社会に貢献する上で、技術者としての倫理観を持って行動できる (③興味・関心, ④態度)
E. 国際性	多様な文化・価値観を理解し、それらの違いを超えて交流できる (③興味・関心, ④態度)

○ 専攻科課程

専攻科課程では、教育目的を実現するために以下のような力や気質を身に付け、所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

A. 基礎力	AC-1	自身の専門について、常に基礎に還り、新知識を創り出す能力を養う
B. 実践力	AC-2	より高度な専門領域について、講義、演習、実験や研究を通して知識のみならず、学ぶ力を養うことにより、創造的研究開発能力を得る
C. コミュニケーション力	AC-3	発表の場（学内発表、学会発表）において、論文作成、研究発表（情報発信）、質疑応答を行い、真の意味でのコミュニケーション力を養う
D. 人間性	AC-4	学問を通して人間性を養い、良き技術者となる
E. 国際性	AC-5	国際的な視野を持って研究を行い（文献調査や国際会議参加など）、自身の研究の位置づけを理解するとともにエンジニアとしての国際性を身につける

○ 準学士課程学科ごとの学習・教育目標

一般教育科

GE-1	専門分野に必要な基本的知識・論理的思考力を身につける
GE-2	人や環境のために知識・技術を正しく使える力を身につける
GE-3	国際社会の中であって互いを理解し、自己を正しく表現できる力を身につける

機械電子工学科

ME-1	【倫理観・国際性】 国際社会の一員として、技術者の一般的な倫理観を持ち、技術・工学が社会に貢献でき、また社会に及ぼす影響を認識することができる
ME-2	【チームワーク】 理解力や表現力に富み、チームの一員として、与えられた制約の下で計画的に仕事を成し得ることができる
ME-3	【基礎力】 情報通信・産業システム・電子デバイスの分野の理解に必要な基礎的な数学・自然科学の知識と応用能力およびコンピュータを活用できる基礎能力を習得でき、それらの分野の相互関係を理解することができる
ME-4	【分析・抽出力】 学際的・グローバルな視点から、社会環境や生活におけるニーズや解決すべき課題を見出すことができる
ME-5	【実践・具現力】 技術・工学の基礎を習得し、アイデアを具現する開発型技術者としての基礎的知識を持ち、情報を利用し、実践的に活用できる
ME-6	【発展性・継続性・チャレンジ精神】 総合的な観点から自主的・継続的に学習でき、技術・工学の考え方を活用してマネジメントや起業のような分野に積極的に参加できる
ME-7	【討論・論理的思考】 日本語で論理的に考え、記述・発表・討論することができ、英語で基本的な会話ができる

電気工学科

EE-1	電気工学の基礎知識を学び実験・実習を通して技能と技術を習得し、それらを具体的・実践的な課題に利用でき、問題解決活動に活用できる基礎を修得する
EE-2	コンテスト型教育（電動ビークルコンテスト、ミニソーラーカーコンテスト、学科ロボコン）やプロジェクト型教育（プロジェクト実習）、創造設計、実験、卒業研究を通して、問題の現状把握から原因の分析・調査、研究を行い、アイデアを実現できる実践力を修得する
EE-3	実験・実習などで実際に起きている現象の性質を観測（計測）し、結果をまとめて報告することができる。また、コンテスト型教育やプロジェクト型教育などの活動を通して、問題を解決した成果を、文章や口頭発表で報告することができる
EE-4	自分が描いたアイデアを第三者に伝えることが出来ると同時に、第三者の意見を取り入れながら自分の発想を修正・改善できる。また、チームワークの大切さを認識し協調性やリーダーシップを修得する
EE-5	技術が生活環境に与える影響について理解し、電気工学の目的や社会との関わりと責任を認識する。また、国際化した国内外の社会状況に関心を持ち生活文化や価値観の多様化を理解したうえで、自らの行動に反映することができる能力を育成する

情報工学科

CS-1	情報工学(情報数学, 確率, アルゴリズム等)の基礎が理解できる
CS-2	電気回路,論理回路などの電気に関する知識を基礎に,コンピュータハードウェア,計算機アーキテクチャに関して基礎的な理解ができる
CS-3	プログラミング言語,コンパイラ,オペレーティングシステムの基礎が理解できる
CS-4	情報ネットワーク環境,データベース環境の基礎的知識を理解できる
CS-5	計算機ハードウェアを理解し,組み立て調整するとともに,オペレーティングシステム,アプリケーションソフトウェアの導入調整や,トラブル発生時に問題箇所発見や調整を専門家の支援を基に実施できる
CS-6	サーバ環境,ネットワーク環境やデータベース環境の構築や調整が専門家の支援を基に実施できる
CS-7	複数のプログラミング言語を知っており,専門家の支援のもとでプログラミング支援環境を使ってソフトウェア開発を行うことができる.またプロダクトマインドの精神がなんであるか理解できている
CS-8	情報分野が支える環境(経営情報など)の社会ニーズについて知識を持ち,応用ソフトウェアを利用してデータ処理を行うことができる
CS-9	情報技術を使って,社会に必要な技術的な仕事に関する報告書を期日を守って提出する能力と習慣を身につける
CS-10	プロジェクトなど, 多人数で相互に協調してプロダクトを開発する状況で, スケジュールを立て分担して取り組み, 相互に連絡を取り, 対応できる必要十分なコミュニケーションをすることができる
CS-11	情報に関するシステム利用者と提供者の社会性と倫理規範を理解し, 情報技術者として社会に貢献できる
CS-12	国際的に広がって利用されるインターネット社会の中で情報発信・検索・交換を通じ, 情報技術の国際社会に与える影響を十分理解し, 国際社会に貢献できる

デザイン学科

AD-1	造形表現に必要な知識、技能を身につける事ができる
AD-2	デザイン提案に必要なコンセプト構築力、設計能力を身につける事ができる
AD-3	産学共同研究および卒業研究などにおいて、総合的な視点から問題をとらえ、適切な目標設定に応じた創造的かつリアリティーある提案ができる
AD-4	話し言葉、文章、図表などで効果的なコミュニケーションができる
AD-5	デザインが社会や環境に及ぼす影響について理解し、常に使い手の立場に立ったものづくりをすることができる
AD-6	生活文化の固有性や多様な価値観を理解した上で、デザイン活動に活かすことができる